

令和7年度 東永谷地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

一総括表一

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当地域は、大久保最戸地区、永谷地区（東永谷1～3丁目）になります。いずれも起伏の多い地域で、移動や買い物の支援が必要な高齢者等が多くなってきています。また高台周辺は昭和30年代後半から開発された戸建住宅の新興住宅地で、高齢者夫婦のみの世帯や単身世帯が増加しており、今後は空き家問題の増加も予想されます。コロナ禍が長く続いたことで外出の機会が減り足腰が弱った方の介護保険利用が増えるなどの傾向も見られています。

今年度は第5期地域福祉保健計画（令和8年度～12年度）の策定の時期にあたるため、地域の皆様とともに次の5年間を見据えて地域における現状や課題、解決策等について考えるなど支援を行います。
※新ケアプラザの開設に伴い、永野地区（上永谷1～3丁目）の担当は令和6年7月より移行。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	■	高齢者サロン「ひなたぼっこ」等の自主事業、また地域の体操教室等様々な機会を捉えて支援が必要な方の情報を収集、必要に応じて包括へつなぐ。
<input type="checkbox"/>	■	見守り協力事業者の連絡会を開催し、見守り意識の啓発を行うとともに、地域と事業者のつながりも構築する。
<input type="checkbox"/>	■	ひまわりホルダーやエンディングノート、見守り協力事業所等港南区独自のものについて、チラシ・広報紙・掲示板などを活用し、広く地域住民に周知する。
<input type="checkbox"/>	■	東永谷地区センターと協働で男性向け講座「メンズ倶楽部」を開催する。
<input type="checkbox"/>	■	昨年度の講座「東永谷の子どもの今を考える」参加者と継続して子どもの支援について考えるとともに、実際のニーズを踏まえ、具体化に向けて取り組む。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和7年度 横浜市東永谷地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組 計画	地域包括支援センターやケアマネジャーなどへの介護相談に対し、ハートページや介護情報サービスかながわなどから複数の事業所の情報を提供し、相談者が選択してもらえるように支援します。 会場貸出においては、会場予約が公正に対応できるよう分かりやすい説明資料を整備して配付します。	通年で業務改善の積み上げを行い、適正な事務・事業の実施が行える職場環境をつくります。 事故防止と気付きを高めるためにヒヤリハットを積み上げ、共有します。 定期的にコンプライアンス行動自己チェックシートを用いて、職員自らがコンプライアンスの意識を高められるようにします。また職場内でコンプライアンス研修を実施します。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>1 適切なアセスメント及び自立支援に資するケアプラン作成 利用者本人が目標を理解した上で、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成し、実行できている。</p> <p>2 幅広い選択肢からの利用サービスの選択 プランの中に給付以外のサービスBや地域のインフォーマルサービス等を組み込む等、地域の特性を生かし、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチする支援ができる。</p> <p>3 居宅介護支援事業所委託時の関与・支援 上記2つの視点について、情報提供や相談支援を通じて、委託先の居宅介護事業所においても基本的な考え方が一致した介護予防ケアマネジメントを実施することができている。</p> <p>4 関係機関との連携 区役所、サービス提供事業所、主治医、保険・医療・福祉の関係機関などと連携できている。生活支援コーディネータとの日頃からの情報共有・協力体制が構築できている。</p>	<p>本会の活動理念に基づき、地域の社会資源として他部門と情報を共有し、地域住民の安心した生活が継続するよう積極的な姿勢で事業に取組みます。</p> <p>1 利用者の意思を尊重し心身の状況や環境等に応じて、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活（要介護状態の予防、軽減又は悪化の防止等）ができる目標に居宅サービス計画を作成します。</p> <p>2 関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、多様な事業者から総合的かつ効率的にサービスが提供されるように調整し、常に利用者の立場で公正中立な居宅サービス計画を作成します。</p> <p>3 地域住民の方との顔の見える関係づくりを大切にし、地域の社会資源を活用していきます。</p> <p>4 介護支援専門員等の資質向上を図るため、採用時研修（採用後6ヶ月以内）、定期研修（年1回以上）等の機会を設け、業務体制を整備します。</p>
利用 料金	<p>【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準（厚生労働省告示第百二十九号）及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準（厚生省告示第二十号）に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>
職員 体制	管理者・保健師等 1名（常勤兼務） 主任ケアマネジャー 1名（常勤兼務） 社会福祉士 1名（常勤兼務） 介護支援専門員 2名（非常勤専従）	管理者 1名（常勤兼務） 介護支援専門員 3名 (常勤兼務1名、常勤専従1名、非常勤専従1名)
契約 者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	<p>ケアマネジャーの作成するケアプランやサービス担当者会議の情報を元にご本人やご家族の希望を把握し、ご本人の機能維持、生活支援に繋がる通所介護計画を作成、実施します。</p> <p>ご利用者の自主性を支援するため自己選択ができる環境設定を行い、お一人お一人に合った自立支援に努めます。そのための職員研修の充実を図り、ご利用者やご家族に選ばれるディサービスを目指します。</p>		
実施体制	<p>【実施日数】 307日</p> <p>【提供時間】 10:15～15:20</p> <p>【定員】 43人</p>	<p>【実施日数】</p> <p>【提供時間】</p> <p>【定員】</p>	<p>【実施日数】</p> <p>【提供時間】</p> <p>【定員】</p>
利用料金	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額</p> <p>【その他料金】 ・食費負担 850円 ・キャンセル料 647円(食材料費前日17時までに連絡がない場合) ・通常のレクリエーション以外に行う 特別な行事 実費</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>
職員体制	<p>管理者 1名(常勤兼務) 生活相談員 6名(常勤兼務3名・非常勤兼務3名) 看護師 4名(非常勤兼務) 介護職員25名(常勤兼務・非常勤兼務) 機能訓練指導員 4名(非常勤兼務)</p>		
契約者数等	<p>【延べ利用者数】</p> <p>【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】</p> <p>【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】</p> <p>【契約者数】</p>

令和7年度「東永谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）<地域活動交流>

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,003,402	0	20,003,402	0	20,003,402	横浜市より
内 訳 受領額 戻入額	20,003,402		20,003,402		20,003,402	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 訳 印刷代 自動販売機手数料 その他			0		0	
その他	3,994,500		3,994,500		3,994,500	
収入合計	23,997,902	0	23,997,902	0	23,997,902	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,758,319	0	13,758,319	0	13,758,319	
内 訳 本俸 社会保険料 手当計 健康診断費 勤労者福祉共済掛金 退職給付引当金繰入額 その他	11,723,319 923,000 988,000 13,000 8,000 83,000 20,000		11,723,319 923,000 988,000 13,000 8,000 83,000 20,000		11,723,319 923,000 988,000 13,000 8,000 83,000 20,000	
事務費	2,857,000	0	2,857,000	0	2,857,000	
旅費 消耗品費 会議賄い費 印刷製本費 通信費 使用料及び賃借料 内 訳 自販機目的外使用料（横浜市への支出） その他	30,000 478,000 0 70,000 260,000 0 0 0		30,000 478,000 0 70,000 260,000 0 0		30,000 478,000 0 70,000 260,000 0 0	
備品購入費 図書購入費 内 訳 施設賠償責任保険 職員等研修費 振込手数料 リース料 手数料 地域協力費 公租公課 内 訳 事業所税 消費税 印紙税 その他	100,000 0 100,000 0 15,000 20,000 1,000 30,000 2,000 0 1,156,000 495,000		100,000 0 100,000 0 15,000 20,000 1,000 30,000 2,000 0 1,156,000 495,000		100,000 0 100,000 0 15,000 20,000 1,000 30,000 2,000 0 1,156,000 495,000	
事業費	200,000	0	200,000	0	200,000	
内 訳 自主事業費（指定管理料充当の自主事業） その他	200,000 0		200,000 0		200,000 0	
管理費	6,908,583	0	6,908,583	0	6,908,583	
内 訳 光熱水費 清掃費 機械整備費 設備保全費 内 訳 空調衛生設備保守 消防設備保守 内 訳 電気設備保守 害虫駆除清掃保守 駐車場設備保全費 その他保全費 共益費 その他	4,300,000 903,000 60,000 978,000 300,000 55,000 70,000 10,000 0 543,000 0 667,583		4,300,000 903,000 60,000 978,000 300,000 55,000 70,000 10,000 0 543,000 0 667,583		4,300,000 903,000 60,000 978,000 300,000 55,000 70,000 10,000 0 543,000 0 667,583	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
太陽光パネル保守点検			0		0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	23,997,902	0	23,997,902	0	23,997,902	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	200,000	0	200,000	0	200,000	
自主事業 収支	△ 200,000	0	△ 200,000	0	△ 200,000	
管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「東永谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）<包括等>

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	31,757,429	0	31,757,429	0	31,757,429	横浜市より
内 受領額	31,757,429		31,757,429		31,757,429	
計 戻入額					0	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	30,000		30,000		30,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,187,717	0	6,187,717	0	6,187,717	横浜市より
内 受領額	6,187,717		6,187,717		6,187,717	
計 戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
計 自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	6,516,000		6,516,000		6,516,000	
収入合計	44,645,146	0	44,645,146	0	44,645,146	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	40,102,156	0	40,102,156	0	40,102,156	
内 本俸	23,669,156		23,669,156		23,669,156	
社会保険料	4,163,000		4,163,000		4,163,000	
手当計	9,553,000		9,553,000		9,553,000	
内 健康診断費	52,000		52,000		52,000	
計 勤労者福祉共済掛金	34,000		34,000		34,000	
退職給付引当金繰入額	1,227,000		1,227,000		1,227,000	
その他	1,404,000		1,404,000		1,404,000	
事務費	1,539,990	0	1,539,990	0	1,539,990	
内 旅費	50,000		50,000		50,000	
消耗品費	400,000		400,000		400,000	
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	66,000		66,000		66,000	
通信費	180,000		180,000		180,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
計 その他	0		0		0	
備品購入費	90,000		90,000		90,000	
図書購入費	0		0		0	
内 施設賠償責任保険	10,000		10,000		10,000	
計 職員等研修費	25,000		25,000		25,000	
振込手数料	1,000		1,000		1,000	
リース料	220,000		220,000		220,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税			0		0	
内 消費税			0		0	
計 印紙税			0		0	
その他	497,990		497,990		497,990	
事業費	1,134,000	0	1,134,000	0	1,134,000	
内 協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000		100,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
計 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	30,000		30,000		30,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	220,000		220,000		220,000	
その他			0		0	
管理費	1,743,000	0	1,743,000	0	1,743,000	
内 光熱水費	1,215,000		1,215,000		1,215,000	
内 清掃費	250,000		250,000		250,000	
内 機械警備費	15,000		15,000		15,000	
内 設備保全費	203,000	0	203,000	0	203,000	
内 空調衛生設備保守	85,000		85,000		85,000	
内 消防設備保守	10,000		10,000		10,000	
内 電気設備保守	18,000		18,000		18,000	
内 虫虫駆除清掃保守	3,000		3,000		3,000	
内 駐車場設備保全費	0		0		0	
内 その他保全費	87,000		87,000		87,000	
内 共益費	0		0		0	
内 その他	60,000		60,000		60,000	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	予算:指定額
内 その他	0	0	0	0	0	
支出合計	44,645,146	0	44,645,146	0	44,645,146	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	504,000	0	504,000	0	504,000	
自主事業 収支	△ 504,000	0	△ 504,000	0	△ 504,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:東永谷地域ケアプラザ

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	13,554		13,554	7,745		7,745	96,681		96,681			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	13,554	0	13,554	7,745	0	7,745	96,681	0	96,681	0	0	0
支出	人件費			0	4,036		4,036	9,361		9,361	58,729		58,729			0
	事務費			0	22		22	37		37	837		837			0
	事業費			0	422		422	717		717	19,895		19,895			0
	管理費			0			0			0	7,714		7,714			0
	その他	0	0	0	7,480	0	7,480	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	7,480		7,480			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	11,960	0	11,960	10,115	0	10,115	87,175	0	87,175	0	0	0
	収支 (A)-(B)	0	0	0	1,594	0	1,594	-2,370	0	-2,370	9,506	0	9,506	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業				■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業			1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）						7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者（複数選択可）	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
1	子育てサロン「めだか」	平成11年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	0才～未就園児の親子が自由に集い、親同士や子ども同士が交流できる場を提供する。 母親の育児不安や相談を受け止め、情報提供をしたり、関係機関につなげる。	3:養育者及び乳幼児	4、5	親子同士やボランティアとの交流・仲間づくり。および情報提供。 原則毎月第4火曜日午前実施。	0	0	0	0
2	子育てサロン「くれよん」	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	0才～未就園児の親子が自由に集い、親同士や子ども同士が交流できる場を提供する。 母親の育児不安や相談を受け止め、情報提供をしたり、関係機関につなげる。	3:養育者及び乳幼児	4、5	親子同士やボランティアとの交流・仲間づくり。および情報提供。 原則毎月第1土曜日午前実施	0	0	0	0
3	1才児子育て学級「ひよこ・くらぶ」	平成23年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	1歳児の親子を対象に、親子のふれあいの場、学びの場として、プログラムを通してよりよい親子関係を育む。また、母親同士の交流を図る。ボランティアアゲル-ブ「ひよこサポートーズ」共催。	3:養育者及び乳幼児	4、5	春秋2年毎回各6回講座で開催。 栄養士から1歳児の食の話、おもちゃ作り、デイサービスの高齢者との交流などを通じて、学びと交流の場を作る。 講師は「あそび・隊」J、区栄養士、保育士	0	0	0	0
4	高齢者ふれあいサロン「ひなたぼっこ」	平成16年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	65才以上の高齢者を対象とし、音楽や工作等の企画をとおして仲間づくりを進めるとともに、地域包括支援センターとの連携により必要な方にについて相談につなげる。 また、今年度から体を動かす時間としてひなたぼっこアクティブを開催いたします。	1:高齢者	5	歌や介護予防ゲーム等の企画をとおした参加者同士の交流。毎月第3(木)13時30分から15時まで。 8月休会	0	0	0	0
5	高齢者ふれあいサロン「ひなたぼっこアクティブ」	令和7年	5:共催（1と3）	2:発展させるねらい	66才以上の高齢者を対象とし、体を無理なく動かし活気を持って活動するため。 ボッチャを中心とする活動をします。	1:高齢者	5	ボッチャを中心とする活動 これ医者のボランティア野鳥しても提供する。ガメラマン、体操、ボッチャ審判など	0	0	0	0
6	介護者の集い「スワンの会」	平成12年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者や介護経験者集い、情報共有するとともに自分たちの知識・学び・経験を地域に発信できる団体となる事を目指し活動する	1:高齢者	5	メンバー同士の情報共有、話し合い、講座開催、情報発信。毎月第三水曜日 13:30～	0	0	0	0
7	グリーンディ・種まき体験	平成27年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	ケアプラザ利用者、東永谷地区センター利用者、地域の方々に呼びかけ、草取りイベントを実施。参加者同士の交流、ボランティア活動のきっかけづくり、施設利用者の施設の管理・運営の参加を目的に実施。	5:地域	4	ケアプラザ周辺の植え込みの草取りの後、春に種まき講習会、東永谷地区センター・水仙クラブと共に。 原則第3木曜日。9時30分～11時30分	0	0	0	0
8	勉強を楽しむ会	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザエリア内での個別相談の中心から、子どもたちの居場所とともに学習の場の提供を目的とする。また、ボランティアとして参加してくださる方々も子どもたちと一緒にわらうことでやりがいを感じていただき、地域の子どもを取り巻く環境に关心を持っています。	4:子ども・青少年	3	第2、第4金曜日午後実施 ボランティアによる小学生への学習支援	0	0	0	0
9	ほっとたいむサロン	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	日頃子育てをしている保護者にほっとする時間をもてもらう。子育て世代の必要な情報を提供し、新しい子育て世代の参加、子育て世代のニーズ把握を目的とする。	3:養育者及び乳幼児	4、5	保護者から離れられる子どもは多目的ホールでボランティア遊び・見守り。保護者は別室のボランティアコーナーで自由に過ごしてもらう。(8月、2月)	0	0	0	0
10	延ばそう健康寿命「DAIGOの会」	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	包括支援センター保健師による予防講座及び見守り対象者への声掛けなど、健康長生きをコンセプトにしました。	1:高齢者	5	予防体操、フレイル予防、講座など	0	0	0	0
11	メンズ倶楽部	令和6年度	5:共催（1と3）	2:発展させるねらい	定年後の男性の家族以外の居場所、交流の機会を作ることを目的とする。	1:高齢者	5	5月おつまみ教室 6月未定 10月珈琲 未定庭木の剪定	0	0	0	0
12	R-base	令和6年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	令和5年度に東永谷CPで行った連続講座「知ろう！東永谷の子どもたちの今」の受講生が講座終了後も継続して集まり、子どものために何ができるのかを考えていく場をつくりました。令和6年4月から毎月第3水曜18:15から東永谷CPにて話し合っています。 虹のように一人ひとり違った色を持つ子どもたちのために、様々な経験や考え方を持った大人たちが、この場を基地として話しあったり学びあったり動き出していくみたい！という思いを込めた集まり、それがR-baseです。	4:子ども・青少年	5	子どもの現状の勉強 自分たちに何ができるかを考える場	0	0	0	0
13	最戸町友会館における介護予防講座とひまわりホルダー登録会	令和7年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	最戸はエリア内で一番遠い地域であり、ケアプラザ周辺とは生活圏が違う為馴染みがない。ケアプラザの役割の周知や相談先の周知を目的にフレイル予防講座を開催、アンケートを実施し、住民の希望があれば居場所の立ち上げに繋げる。	1:高齢者	1.5	第1回フレイル総論と栄養講座 第2回口腔機能維持と運動口座 第3回運動口座 5月20日、5月27日、6月3日	0	0	0	0
14	協力医健康相談	不明	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	地域の医療相談の一助として開催	5:地域	1、2、6	お医者様による健康相談 個別相談	0	0	0	0
15	民生委員とケアマネジャーの交流会	令和6年度	6:共催（2と3）	2:発展させるねらい	民生委員とケアマネジャーの顔の見える関係づくりを目的とする。お互いのことでついて知る機会とする。	5:地域	6	民生委員活動、介護保険について説明 交流のためグループワークを実施。	0	0	0	0